

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和元年10月1日

①学校名:	東洋英和女学院大学大学院	②所在地:	東京都港区六本木5-14-40		
③課程名:	人間科学研究科人間科学専攻 修士課程幼児教育・発達臨床学領域	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	平成5年 4月1日
⑥責任者:	人間科学研究科長 久保田まり	⑦定員:	人間科学研究科人間科学専攻30名 (平成30年度幼児教育コース修了者数4 名)	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	本学の幼児教育学・教育学の伝統を継承し、時代や社会の変化においても普遍的な「子どもに仕える」ことの意味を探求すると共に、新たな時代を見据えた幼児教育学と、親子の関わりや発達に問題を抱える子どもの理解や親子支援の在り方を探求する発達臨床学分野のカリキュラムを整えている。本領域の特色は、現職の幼稚園教諭、保育士だけでなく一般企業の社会人も受け入れ、保育・幼児教育や発達支援の研究・教育を行っている。平日夜間および土曜日開講、長期履修制度などによる現職教育を可能としていることである。				
⑩4テーマへの 該当の有無	女性活躍	⑪履修資格:	令和2年度の履修(出願)資格 次のいずれかに該当する者 (1)大学を卒業した者および令和2年3月卒業見込みの者 (2)大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者および令和2年3月末までに授与される見込みの者 (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および令和2年3月修了見込みの者 (4)文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号) (5)専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることと他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 (6)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者 (7)我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者 (8)研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達したものの(出願資格については書類審査が必要)		
⑫対象とする職業 の種類:	幼稚園・保育所・こども園などで保育に携わる主任・園長・教職員、 一般企業に従事する社会人				
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・幼児教育学、保育学に関するより高度で国際的な専門的知識 ・発達臨床学的視点からの子ども理解と親子支援に関する知識 ・幼児教育実践を深める具体的技術や技能	(得られる能力) ・子どもとかかわる領域での実践的なマネジメント能力や問題解決能力 ・発達臨床的な問題を捉え具体的支援につなげる専門的能力			
⑭教育課程:	本領域は、「幼児教育の理論と実践研究」、および現代的問題としての「子どもの発達臨床的問題の探求」の二本柱から構成されている。本学院の理念である「敬神奉仕」の精神を具現化する保育・幼児教育の在り方を探求する学びと共に、保育・幼児教育の動向を捉えつつ、様々なニーズを持つ子どもの成長発達や発達のな問題・障害の理解と支援に関する学びを深める多様なカリキュラムを用意している。子どもの保育、教育、発達支援に求められている専門性を備え、子どもの幸せに貢献できる人材を養成することを目的としている。他領域に幅広く開講されている科目を履修する課程においては、ほかの分野で学ぶ社会人学生との交流も生じ、相互の思考や体験を通して保育・幼児教育研究を深める刺激を得ることもできる。本領域は幼稚園教諭専修免許課程が開設されており、幼稚園1種免許取得者は幼稚園教諭専修免許を取得できる。				
⑮修了要件(修了 授業時数等):	必修8単位以上を含む30単位以上の修得および修士論文または研究成果を提出し合格すること				

⑯修了時に付与される学位・資格等:	修士(人間科学)							
⑰総授業時数:	104	単位	⑱要件該当授業時数:	68単位	該当要件	双方向実務家	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	65%
⑳成績評価の方法:	授業科目の成績評価は、試験、論文、レポート、発表及び出席状況その他の学習態度を考慮して授業担当教員が行う。修士論文の審査及び最終試験は主査1名、副査2名によって行う。							
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第 109 条第 1 項に定める評価を実施している。そのほか、本大学院では、 ①大学に全学自己点検委員会を設置し、自己点検・評価を行っている。②年2回、在学生に対するアンケート調査を行い、学習環境、カリキュラム等に関して意見を聞き、改善を行っている。③在学生を対象に院生懇談会を開催して、様々な意見を直接聞き、改善を行っている。④研究科委員会内にFD委員会を設置して、在学生からの意見内容等、日頃、教員として学生指導を通じて生ずる諸問題を検討している。							
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文研究を、関連学会や本学《保育子ども研究所》主催のセミナー等で、実践研究報告として発表する。 ・本学学部卒業生が集う《保育部会》において、研究成果を発信する機会を設け、多くの現職保育者との交流や討議を行う。 なお、本課程学生の多くは現職の保育者や子ども関連の施設職員であり、新たに就職する者は殆どいない。							
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) おおつな保育園の外部評価や意見を取り入れ、教育課程の編成の検討や取り組みに関する評価を人間科学研究科委員会内で検討する。 (自己点検・評価) 外部評価を行ってもらうおおつな保育園に対して、該当年度の教育課程の実施状況及び自己点検・評価を説明し、助言指導等を受けることを、年間1～2度開催する。							
㉔社会人が受講しやすい工夫:	社会人が受講しやすいよう、平日夜間と土曜日に授業を開講している。具体的には、月曜日から金曜日は18時30分から21時40分、土曜日は9時から19時30分に授業を開講している。最長4年間まで履修可能な長期履修学生制度を取り入れている。教育訓練給付金は専門実践教育訓練給付金を再申請する。							
㉕ホームページ:	(URL) https://www.toyoeiwa.ac.jp/daigakuin/kenkyuuka/youji.html							

事務担当者名:	田澤 聡	所属部署:	大学院事務室
連絡先:	(電話番号)	03-3583-4031	
	(E-mail)	daigakuin@toyoeiwa.ac.jp	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。